

# 黄リンゴ収穫適期一目で

青森県りんご協会は8月1日、リンゴ黄色品種の色見本付き手袋「ハンドチャート」を発売する。手袋の親指と人差し指の間に、県標準カラーチャートの表面色指数「2」「4」「5」の3色を付けた。黄色品種の「トキ」(きおう)「星の金貨」(シナノゴールド)の収穫時に使う。不慣れなパートタイマーでも収穫適期を判断でき、品質向上と作業時間の短縮につながる。

対象にするリンゴ4品種は熟期がそろわないため、色を見て2、3回に分けて収穫する「すべりもぎ」をするのが基本だ。特に「トキ」は品質のばらつきが大

## 青森県協会 色見本付き手袋



色見本が付いた手袋「ハンドチャート」(青森県りんご協会提供)

きい。成熟すると糖度は14、15になるが、適正にすべりもぎしないと糖度が2程度低い果実が紛れ込む。特にパートでは色の見分けが難しく、作業に時間がかかる上、品質の差が大きくなる。そこで、素人でも

簡単に適期収穫できるよう、色見本付き手袋を販売することにした。

2012年産「トキ」の価格は11年産に比べ、他品種より大きく下落した。近年の増産傾向に加え、台風上陸前の駆け込み収穫で品質のばらつきが大きかったという。

協会は「トキは中生種の主力で、価格下落は晩生種の王林にも影響する。適期を見極めて収穫してほしい」と話す。

製造元は三重化学(三重県松阪市)。販売は、青森県弘前市にある協会事務所、他、同市内の青果卸・弘果弘前中央青果などが行う。小売価格は1双370円。大きさはSからLまで4種類ある。